

～東京都からの1ターン～

福田健二さんへの

(写真真ん中)

インタビュー

広報まつさか

2019年8月号掲載

松阪飯南森林組合で働く3名に

お話しを伺いました♪

○職業：林業

○家族構成：妻・子ども

○移住歴：16年目



『田舎暮らしがしたい』と東京都から松阪市へ移住された福田さんは現在、松阪飯南森林組合でお仕事をし、休日は海釣りや日曜大工等、充実した日々を送っています。

——松阪市への移住の決め手は？

東京でトラックの修理等をしていましたが、田舎暮らしがたくて東京から西の地域で探しました。いろんな自治体等に問い合わせをした際に、偶然知った就職フェアに行っただけです。東京に戻ったときに最初に連絡をくれたのが今の会社でした。それで2〜3泊で就業体験会をするので来てみないかと言ってもらい、実際に山で仕事をしてみて、それが終わったときにすぐ「来る？」と言われ、行きますと返事しました。

——移住への不安はありましたか？

一人暮らしも初めて、林業という仕事も初めてだったので、多少はありましたけど、それほど不安はなかったですね。

「とりあえずやってみたことで、
いろんな人と出会えました」

住む場所も会社が探してくれて、単身での移住だったこともあってか、仕事を教えてくれた人たちが食事の面倒を見てくれたこともありました。

——地域の人との繋がりはありますか？

地域の方に誘ってもらい、お祭りやイベントを一緒にしてました。結婚を機に市内転居した後も、つながりはあります。

最近では、里山に桜を植えようということになって一緒に植えたり、松阪市にきて、面倒見の良い人にたくさん巡りあえました。

——最後に、移住を考えている人にメッセージをお願いします。

いきなり移住して、「絶対に成功する」という保証はないと思います。でも、とりあえず行ってみて「郷に入っては郷に従う」



いろいろやってみて、だんだん慣れてくることもあるだろうし、それでもだめだなあと思うこともあるかもしれない。
仕事や地域との相性、いろいろあると思うけど、とりあえずチャレンジしてみれば、いろんなものを吸収できて、楽しくなるんじゃないかなと思います。